ニプロハートライン™の使い方　患者さん向け

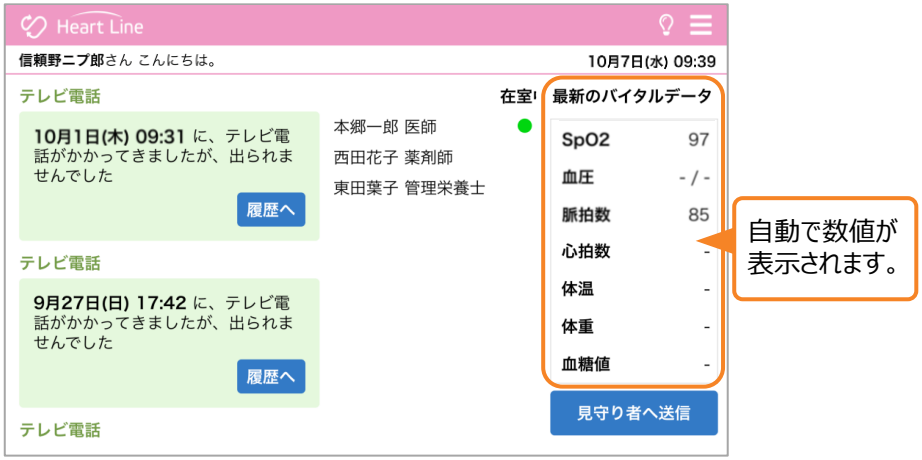
使い方編

Ver. 1. 4

目　次	ページ
1．バイタル測定	
①ペアリング済みの連携機器で測定する	1
②画面の説明	2
③ニプロ推奨連携機器以外で測定する（測定結果の直接入力）	3
④ニプロ電子血圧計　NBP-1BLEで測定する	4
⑤ニプロ電子体温計　NSM-1BLEで測定する	6
⑥マシモSETフィンガー　パルスオキシメータ マイティサットで測定する	7
⑦ニプロケアファストLink®で測定する	8
⑧心電送信機Cocoron®で測定する	9
⑨ニプロ医用電子血圧計　NMBPで測定する	10
⑩ニプロ非接触体温計　NT-100Bで測定する	11
2．テレビ電話	
①画面の説明	12
②テレビ電話をうける	15
③テレビ電話をかける	17

目　次	ページ
3．写真登録	
①写真を撮影して登録する	19
②保存してある画像を登録する	21
③登録した画像を編集する・削除する	23
4．メッセージ	
①メッセージを送る	24
②メッセージを確認する	25
5．服用カレンダー	
①QRコードを読み取る	26
②お薬情報を確認する	27
6．心電図測定とデータ保存	28
7．血糖手帳	32
8．文書類の閲覧とアップロード	
①文書類を閲覧する	33
②文書類をアップロードする・編集する・削除する	35
9．血液浄化法を行う	36
10．腹膜透析記録を送信する	39

① ペアリング済みの連携機器で測定するとホーム画面に自動で数値が反映されます。



② 測定終了後、「見守り者へ送信」をタップします。

③ 「バイタル」をタップします。

④ 送信したバイタルデータが記録保存されています。

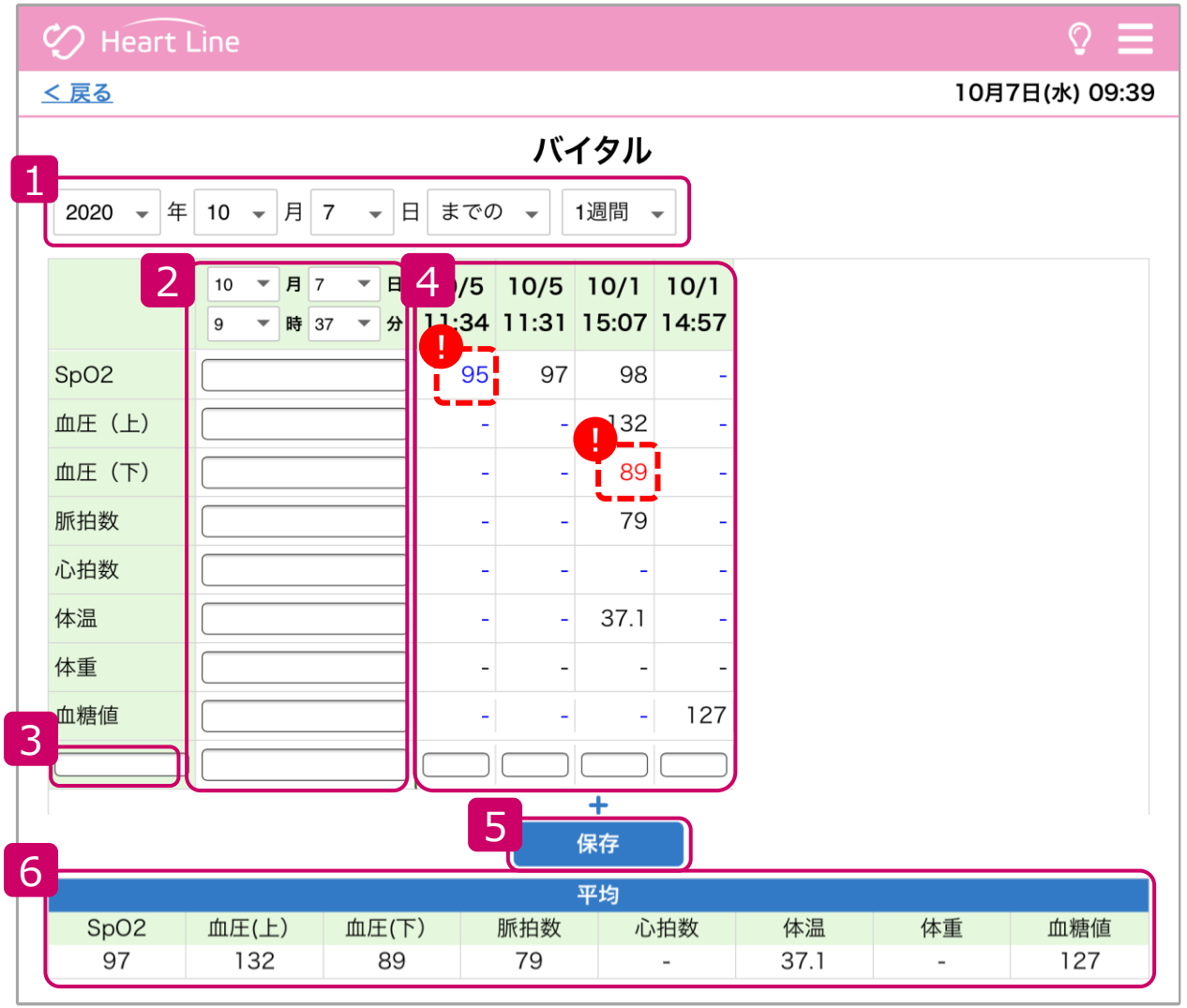
（詳細は次のページに記載しています。）

注

機器接続設定で自動送信がONの場合、
測定値は自動でバイタル表示欄に送信されます。

ボタンはグレーになり
タップできません。

⇒『機器編』P. 2 を
参照してください。



! 主治医が設定したしきい値を 上回ると赤く 下回ると青く 表示されます。

1 表示期間設定

表示したい期間が選べます。

2 直接入力欄

測定日時・測定結果を直接入力できます。

3 任意項目入力欄

任意の項目を最大５つまで入力できます。
項目内容は主治医にご確認ください。

4 バイタル表示欄

1で選択した期間に測定したバイタルデータを表示します。

5 保存

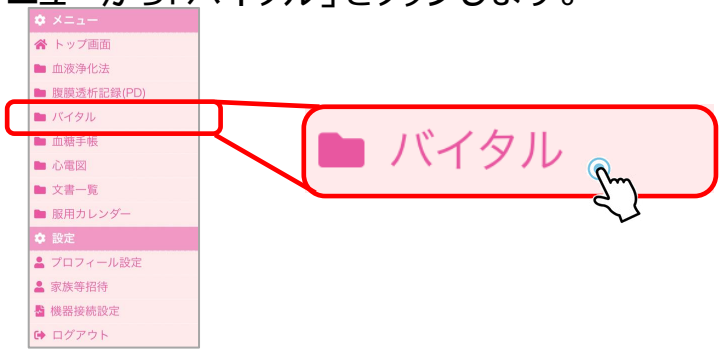
3 4で直接入力したデータを5に取り込む際にタップします。

6 平均値

1で選択した期間のバイタルデータの平均値を表示します。

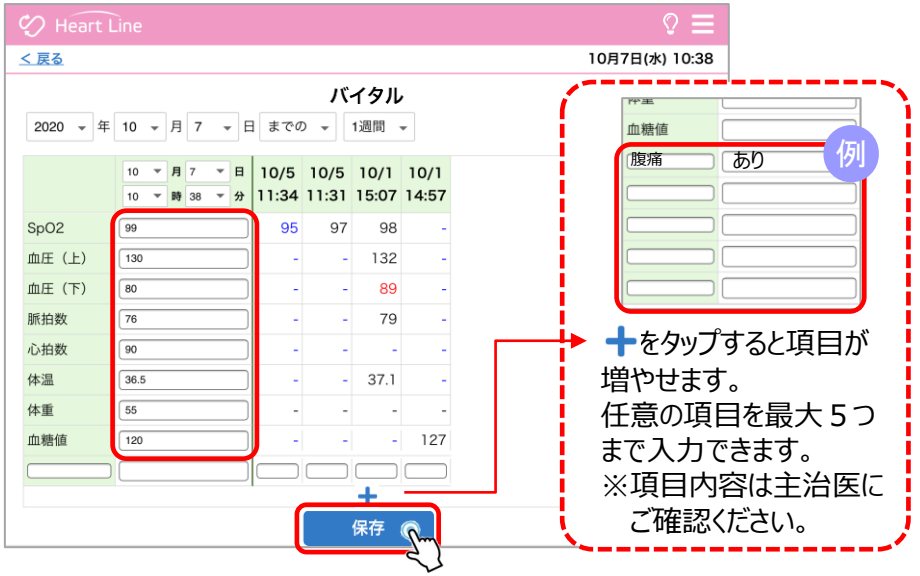
当社推奨機器以外で測定した測定結果は直接入力で保存できます。
保存 ボタンをタップした時刻が測定日時となります。

① メニューから「バイタル」をタップします。



② 入力する項目をタップし数値を入力します。

③ 数値を入力して「保存」をタップします。



④ 表示欄に数値が反映され登録完了です。

ニプロ電子血圧計
NBP-1BLE

- 服装は素肌もしくは薄いシャツ1枚で測定してください。
- カフの中心が心臓の高さになるようにしてください。

カフを巻いた部分が心臓より	高い位置	➡低い数値がでます。
	低い位置	➡高い数値がでます。

1

カフの輪を広げます。

帯をずらして広げます。

2

カフの輪を腕に通します。

エアホースの口が手首側に来るように腕を通します。

3

上腕に引き上げます。

ホースの口が中指の延長線上に合わせます。

4

巻き上げます。

布ファスナーで固定します。
(指1～2本入る巻き付け)

▼

測定開始。

ニプロ電子血圧計
NBP-1BLE

- 背筋を伸ばして姿勢良く座った状態で測定してください。
- 測定中、体を動かしたり、おしゃべりをしないでください。

5

背筋を伸ばして姿勢良く座ります。

6

開始／終了スイッチを短押しすると加圧が始まります。

7

測定結果が表示されます。
しばらくするとデータが取り込まれます。
データが取り込まれたらカフを取り外してください。

ニプロ電子体温計
NSM-1BLE

- 脇の下のくぼみの真ん中に挟みます。
- ピコピコピコと鳴ったら測定完了、『ピー』というブザー音が鳴ったら通信開始し、しばらくするとデータが取り込まれます。
  ※測定後、自動的に電源が切れます。

1

頂点にあるスイッチを短押しします。

2

「Ｌ」が表示されるまで待ちます。

3

脇の下のくぼみの真ん中にやや下から押し当てて挟みます。

※ピコピコと鳴ったらはずしてください。

重要

4

測定結果が表示されます。

通信中のマークがでます。

※データ取り込み完了まで時間がかかる場合があります。

マシモSETフィンガー
パルスオキシメータ
マイティサット

- 利き手と反対側の薬指で測定してください。
- マニキュアやネイルなどで着色･装飾していない指で測定してください。
- 数字が白字になるまで装着してください(注意点参照)。
- 機器を外すとデータが取り込まれます。

1

本体を開くと
電源が入ります。

ロゴの部分を押さえます。

2

画面を上にして利き手と反対側の薬指に装着します。

センサーパッド内の発光部(LED)が爪の上に来るようにします。

3

あまり動かさないように測定し、白字(右図参照)になったら外してください。

注意点

画面表示が
グレーの場合は
測定開始です。

目安:
通信可能になると
電池マークの左に青い
マークが表示されます。

数字が**白字**になったら
測定値発信中です。
指から外してください。

ニプロケアファストLink®

○穿刺前は流水で手を洗ってください。
○充電中は測定できません。
○センサは差し込んでから2分経つと電源が切れてしまいます。
速やかに測定してください。
(※)製品の通信仕様上、データ取り込みに時間がかかることがあります。

1
センサを差し込むと電源が入ります。

2
ニプロLSランセット

保護キャップを外します。
ボディを回して取り外します。

採血します。
穿刺部に押し当て穿刺ボタンを押します。

3
血液を吸入させます。

5秒後に測定結果が表示されます。

4
センサを廃棄するとデータが取り込まれます。(※)

※スライドさせると廃棄できます。

心電送信機Cocoron®

- 本機を身体に貼る前に貼り付ける部分を水や消毒用アルコールを湿らせた布などで拭いた後、乾いた布で拭いてください。
- 電極と身体の間に隙間がないように貼り付けてください。
- 電極は1日1回取り替えてください。
- 本機に水をかけたり、本機を装着したまま入浴等しないでください。

1

電極装着部3箇所に電極を取り付けます。

※電極を必ず3個とも装着してください。

2

電極の保護シートを剥がし身体に貼り付けます。

本機の電源スイッチをONにスライドさせます。

※LEDがオレンジ色に点灯します。

3

※貼り付け位置は医師の指示に従ってください。

装着位置例　波形例

NASA誘導

第Ⅰ誘導

CM5誘導

4

身体から本機を取り外します。

本機の電源をOFFにスライドさせます。

※LEDが消灯します。

本機から電極を取り外します。

※使用後の電極は各地方自治体で定められた方法で適切に廃棄してください。

水または消毒用アルコールを含ませた布等で本機を拭きます。

ニプロ医用電子血圧計
NMBP

- 背筋を伸ばして姿勢良く座った状態で測定してください。
- カフの中心が心臓の高さになるようにしてください。
- 測定中、体を動かしたり、おしゃべりをしないでください。

1

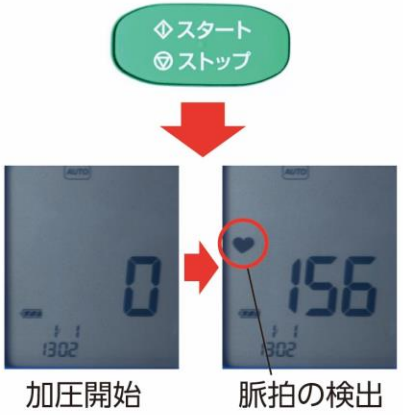
手のひらを上に向け、上腕（肘の関節から1～2cm上）にカフを巻き付けます。

2

背筋を伸ばして座ります。カフの中心が心臓の高さになるようにします。

3

「スタート / ストップ」ボタンを押すと加圧が始まります。



4

測定結果が表示されます。
しばらくするとデータが取り込まれます。
カフを取り外してください。

ニプロ非接触体温計
NT-100B

- 額に髪がかからないようにし、汗は拭きとってください。
- プローブは清潔に保ち、直接触れないでください。
- 携帯電話のような電磁波を発生する機器からは離して使用してください。
- 連続で測定する場合は 1 2 を繰り返します。
- 電源は30秒後に自動でOFFとなります。

1

本体からカバーを外し、
表面から2～3cm
離れた額の中心部分に
プローブを当てます。

2

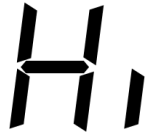
スキャンボタンを押して
測定を行います。

3

「ピピッ」と鳴ったら
測定値がディスプレイに
表示されます。

下記のディスプレイメッセージが
表示された場合は、通信OFFとなり、
自動取込しませんので再測定して
ください。

31.9℃以下



43.1℃以上

【ディスプレイ緑表示】

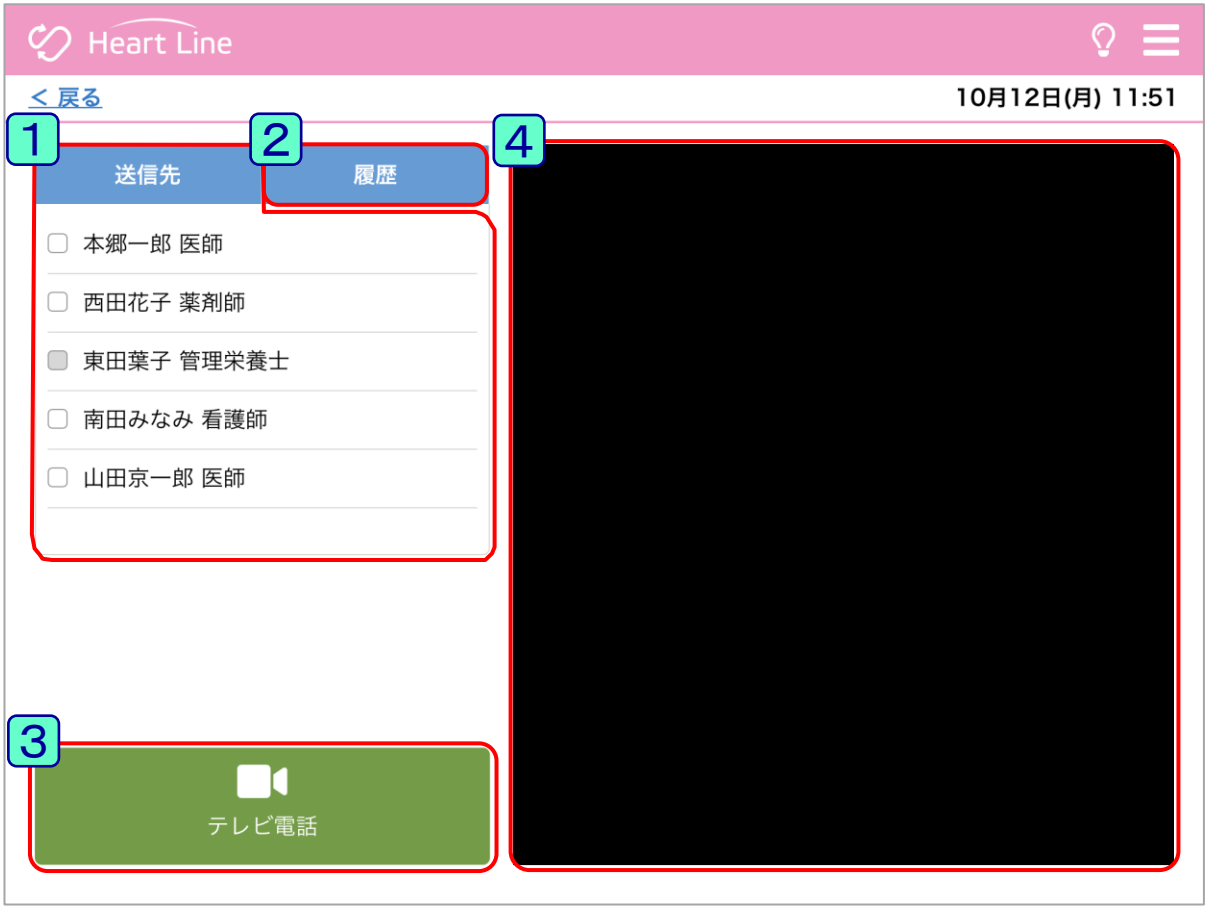
32.0℃以上
37.9℃以下

【ディスプレイ赤表示】

38.0℃以上
43.0℃以下

テレビ電話

ホーム画面の「テレビ電話」を
タップした後の画面です。



1 送信先

ご自身の見守りチームを表示しています。

- ☐ 通話可能
- ☐ 通話不可

2 履歴

着信・発信の履歴が確認できます。

スクロールで
表示できます。

3 通話ボタン

タップして通話を開始します。

4 通話画面

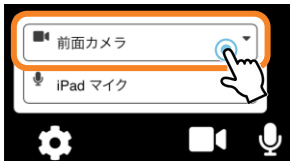
通話相手が表示されます。

通話中の画面です。

1 設定（前面/背面カメラの切り替え）※通常は前面カメラ

① をタップします。

②前面カメラをタップします。



③チェックを入れ切り替えます。

2 画面の表示/非表示

をタップし にするとご自身側の画面が非表示になります。
タップするごとに切り替わります。
※通話は可能です。

3 音声ON/OFF

をタップし にすると音声がOFFになります。
タップするごとに切り替わります。

4 通話終了

をタップして通話を終了します。

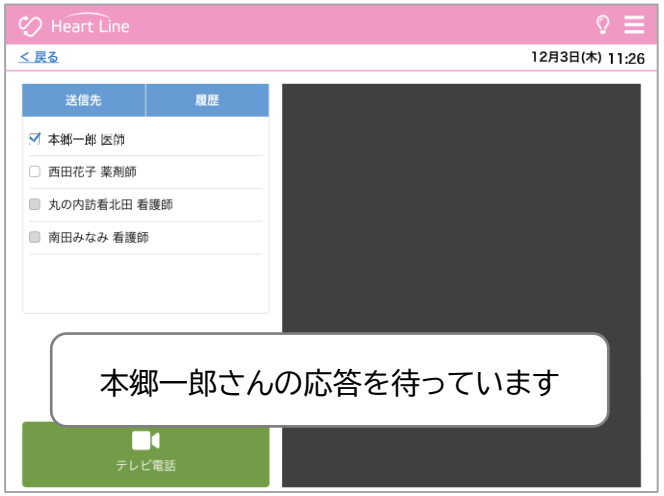
5 画面切り替え

右下の をタップすると複数画面へ切り替えられます。
※ご自身を含む最大6名（6画面）での通話が可能です。

をタップするとタップされた人のみの表示に切り替えられます。

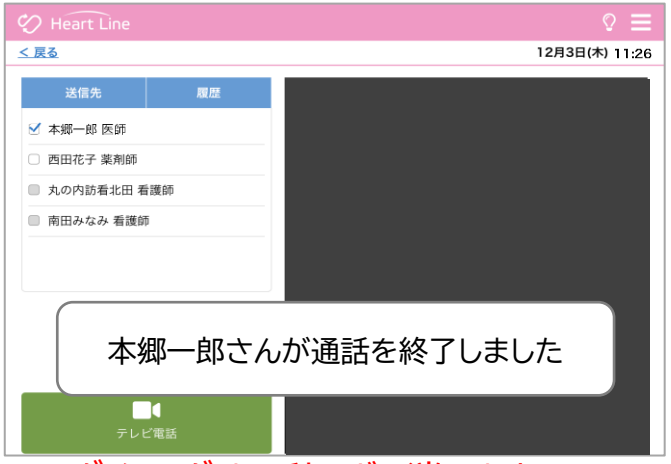
発信中および終話終了時にダイアログが表示されます。

① 患者さん（＝ニプロ太郎さん）から医師（＝本郷一郎 医師）へ発信中の例



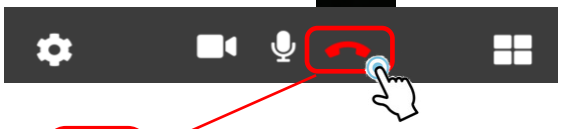
本郷一郎 医師が「応答不可」の設定をしている場合

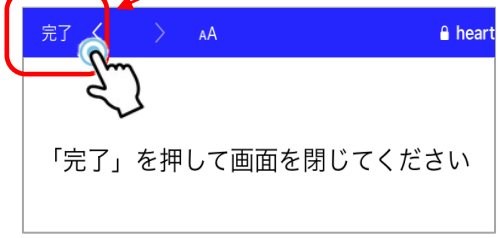
② 本郷一郎 医師が先に通話を終了した場合

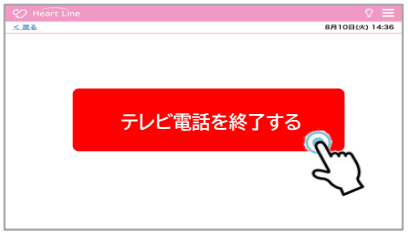


ダイアログは６秒ほどで消えます。

通常の通話終了を行ってください。（☛P.16⑤⑥）
ダイアログ表示中でも ボタンで切ることができます。







端末のOSによって「完了」「終了する」のメッセージが出ない場合があります。

① 着信があると画面中央に表示がでます。

② をタップします。

や をタップしてしまうと正常にテレビ電話ができません。

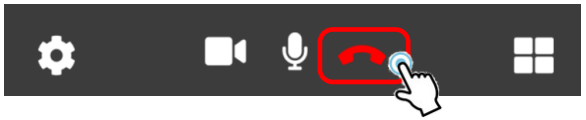
③ マイクとカメラのアクセスを求めるメッセージが出ます。「許可」をタップします。

毎回表示されます。
都度「許可」をタップしてください。

④ 通話を開始します。

通話中、必要に応じて各種ボタンで設定できます。⇒P.13参照。

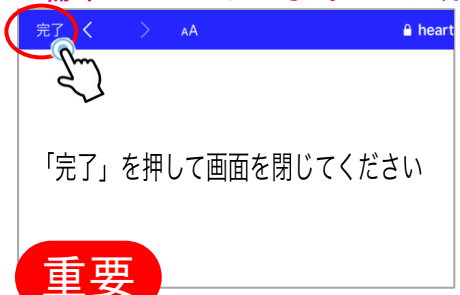
⑤ 通話を終了する際は をタップします。



⑥ 『「完了」を押して画面を閉じてください』のメッセージが表示される場合は、必ず 完了 をタップしてください。

「TV電話を終了する」のメッセージが表示される場合は、必ず当該ボタンをタップしてください。

端末のOSによってメッセージが出ない場合があります。



重要

必ず「完了」、「終了する」をタップしてください。

⑦ 初期画面に戻ります。

複数人表示画面にした場合のイメージ　例）医師と１対１で通話の場合

通話中に右下の をタップします。

2 人表示画面になります。

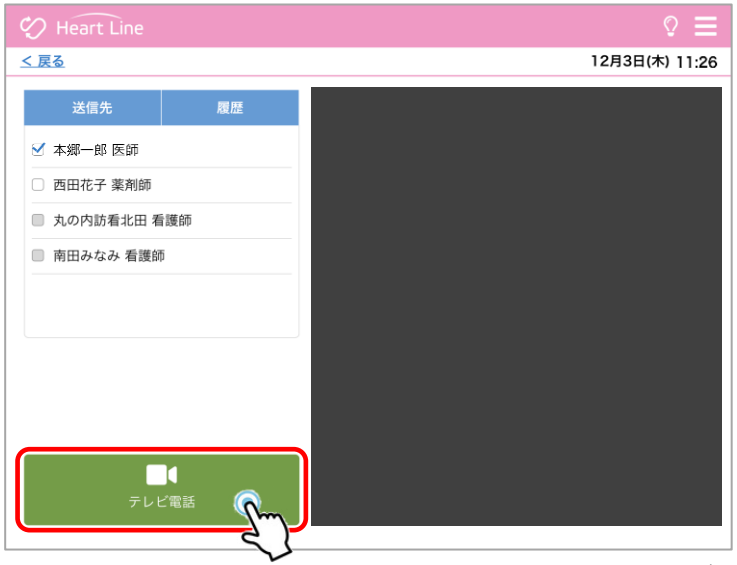
※ご自身を含む最大6名で通話が可能です。

をタップするとタップされた人のみの表示に切り替えられます。

①「テレビ電話」をタップします。

②電話をかける相手に ☑ を入れます。※複数人選択も可能です。

③「テレビ電話」をタップします。



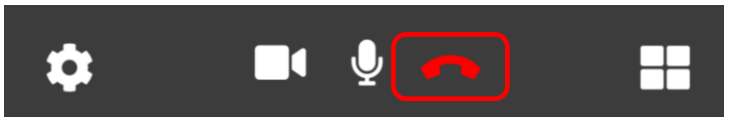
④マイクとカメラのアクセスを求めるメッセージが出ます。「許可」をタップします。

毎回表示されます。都度、「許可」してください。

5 通話を開始します。

通話中、必要に応じて各種ボタンで設定できます。⇒P.13参照。

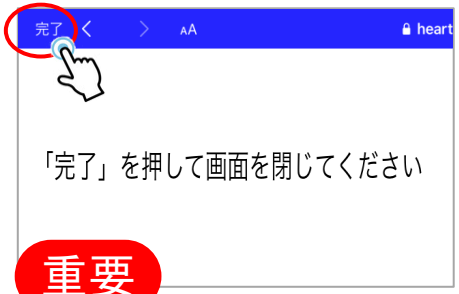
6 通話を終了する際は をタップします。



7 『「完了」を押して画面を閉じてください』のメッセージが表示される場合は、必ず 完了 をタップしてください。

「TV電話を終了する」のメッセージが表示される場合は、必ず当該ボタンをタップしてください。

端末のOSによってメッセージが出ない場合があります。



重要

必ず「完了」、「終了する」をタップしてください。

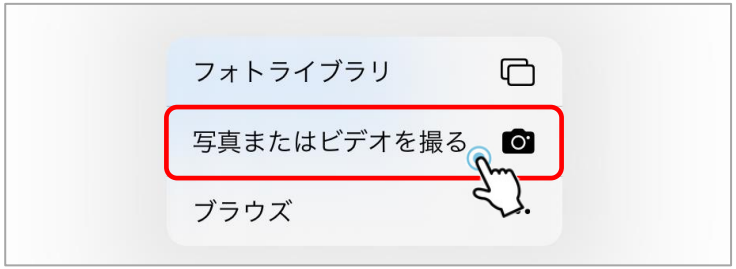
8 初期画面に戻ります。

患部の写真や食事の写真などを共有できます。
▶このページではカメラを起動して撮影した写真を登録する方法を説明します。

① 「撮影」をタップします。

② 「写真撮影」をタップします。

③ 「写真またはビデオを撮る」をタップします。



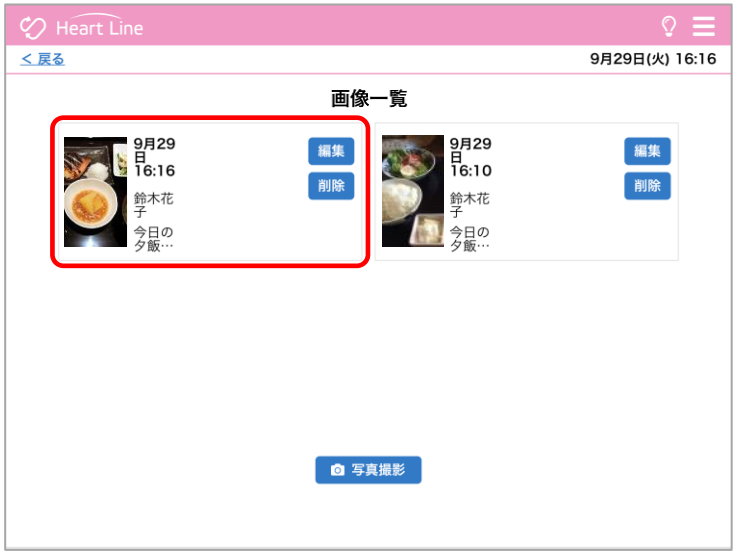
④ カメラが起動しますので写真を撮影します。

⑤ よろしければ「写真を使用」をタップします。

⑥ 撮影した写真が表示されます。

⑦ 説明文を入力し「アップロード」をタップします。

⑧ 画像一覧に表示されます。



患部の写真や食事の写真などを共有できます。
▶ここではあらかじめ保存してある画像を登録する方法を説明します。

①「撮影」をタップします。

②「写真撮影」をタップします。

③「フォトライブラリ」をタップします。

④写真を選び「使用」をタップします。

⑤ 説明文を入力し「アップロード」をタップします。

⑥ 画像一覧に表示されます。

編集する

※ご自身で登録した画像の説明文のみ編集できます。
画像そのものの編集・加工はできません。

① 修正したい画像を選び、「編集」をタップします。

② 説明文を修正し、「保存」をタップします。

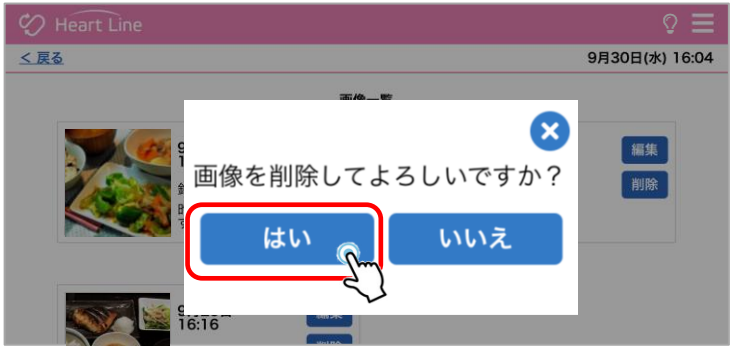
③ 説明文が修正されました。

削除する

※削除した画像を元に戻すことはできません。

① 削除する画像の「削除」をタップします。

② よろしければ、「はい」をタップします。



③ 画像一覧から画像が削除されました。

▶複数人に同じ内容のメッセージを送信できます。
▶送信後のメッセージは削除できません。

① 「メッセージ」をタップします。

② メッセージを送る相手に☑を入れます。

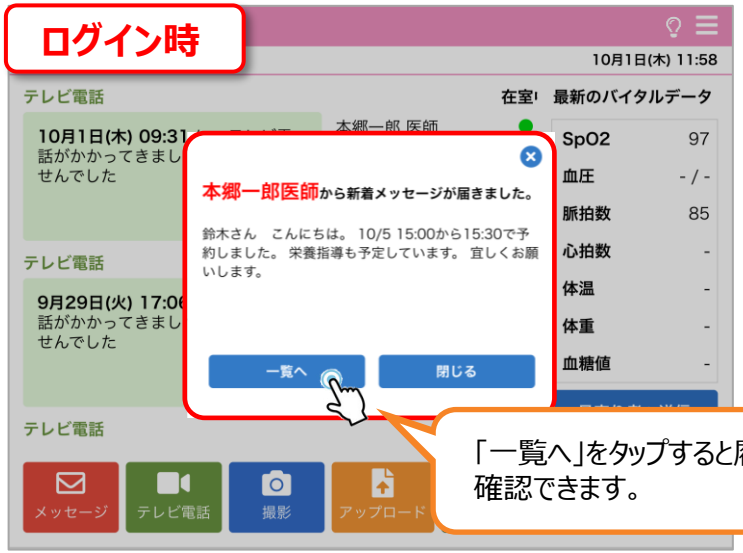
※複数人選択も可能です。

③ メッセージを入力し「送信」をタップします。

④ 送信した履歴が残ります。

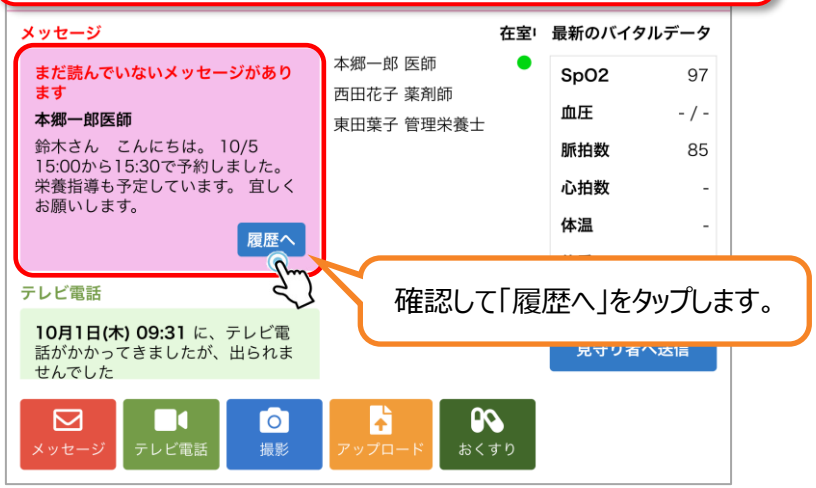
① メッセージが届くとポップアップが表示されます。

ログイン時



「一覧へ」をタップすると履歴を確認できます。

ログアウト時にメッセージを受け取っていた場合は、ログインするとホーム画面に表示されます。



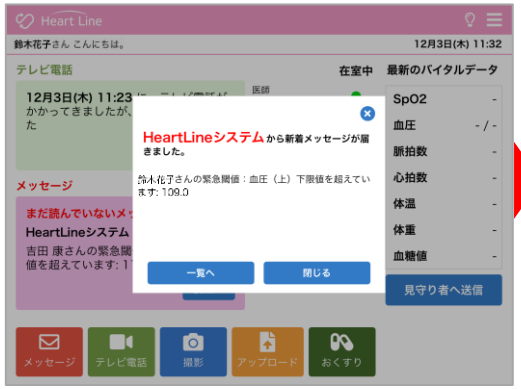
確認して「履歴へ」をタップします。

② 受信した履歴が残ります。

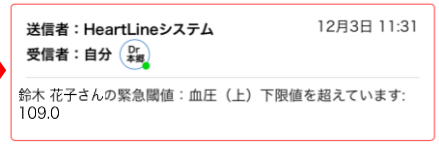
緊急度により枠の色が変わります。

- 大至急
- 至急
- 時間のある時

※ 主治医が定めたしきい値を超えるとアラートが鳴り、「HeartLineシステム」からお知らせが届きます。



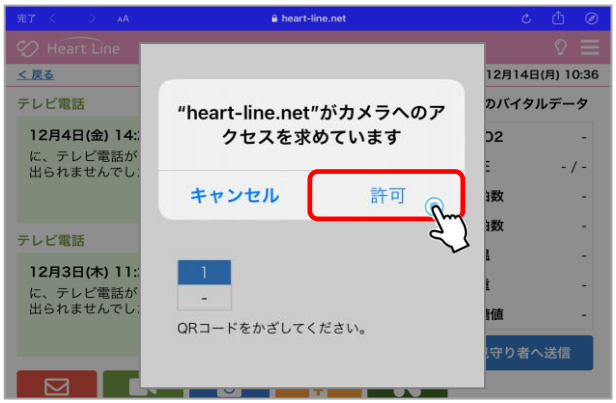
「メッセージ」にお知らせの履歴が残ります。



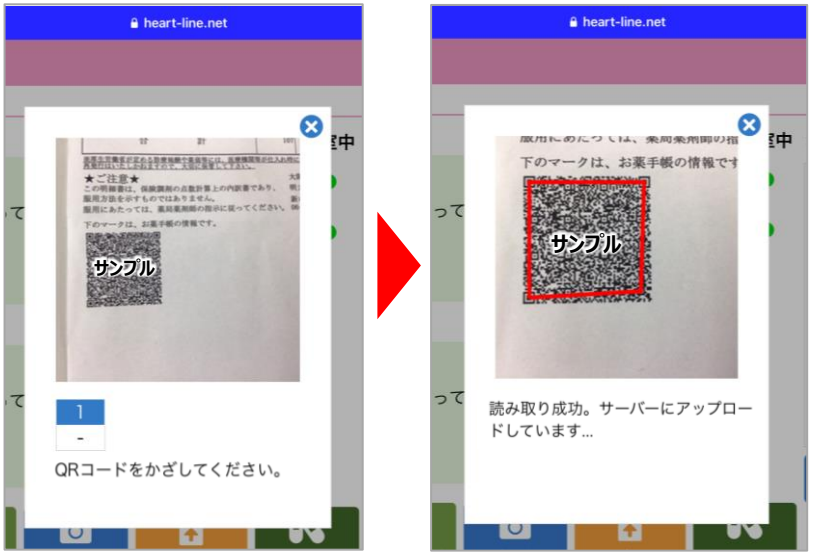
薬局が発行した「調剤明細書」や「領収書」等に記載のQRコードを読み取ることで、お薬情報を記録します。
▶「処方せん」のQRコードは読み取れません。

① 「おくすり」をタップします。

② マイクとカメラのアクセスを求めるメッセージが出ます。「許可」をタップします。

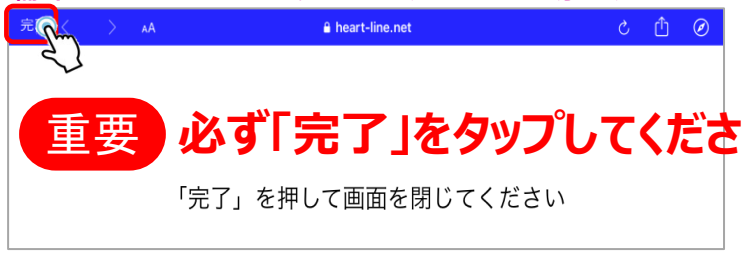


③ 調剤明細書に記載のQRコードの読み取りを行います。 ※「処方せん」のQRコードは読み取れません。



④ 『「完了」を押して画面を閉じてください』のメッセージが表示される場合は、必ずタップしてください。

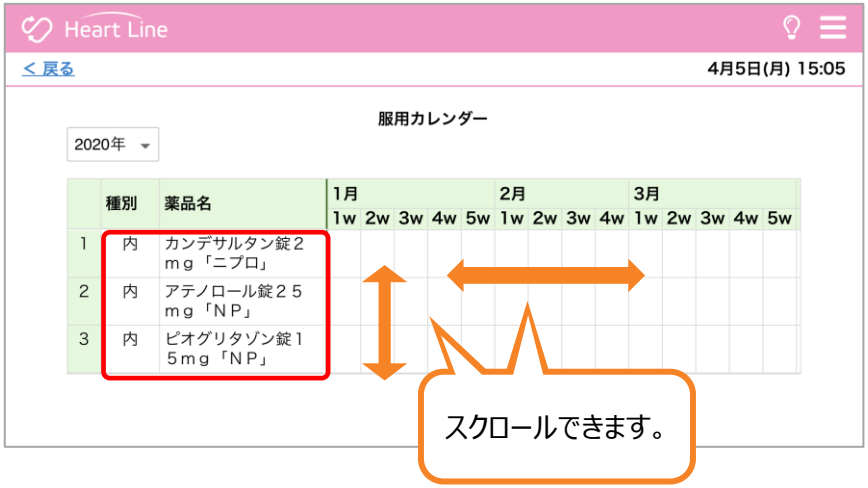
端末のOSによってメッセージが出ない場合があります。



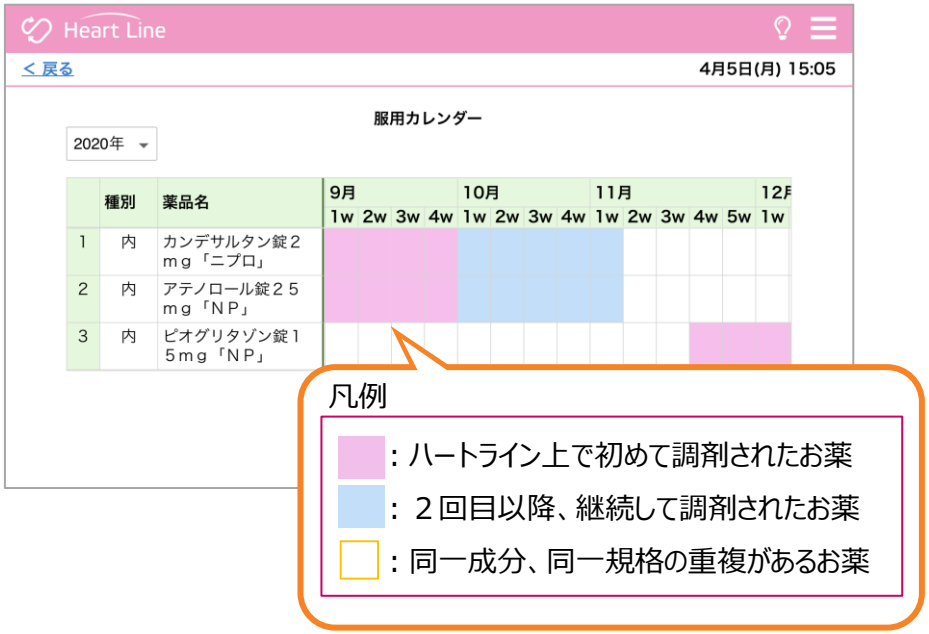
「服用カレンダー」へお薬情報が反映されます。

① メニューから「服用カレンダー」をタップします。

② QRコードで読み取ったお薬情報が反映されています。



③ 週単位での服用期間が確認できます。



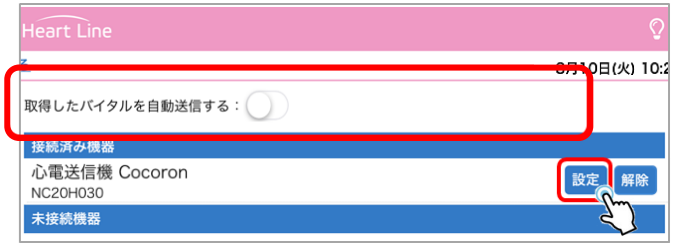
日曜日を始めとする週数でカレンダー表示しています。

例）9月4日（金）に調剤されたお薬は、８月５ｗの欄に色がつきます。

心電送信機Cocoron®（以下「Cocoron」という）とペアリングし、心拍数・心電図を受信します。

① メニューから「機器接続設定」をタップします。

② 「取得したバイタルを自動送信する」がOFF になっていることを確認し、設定 をタップします。



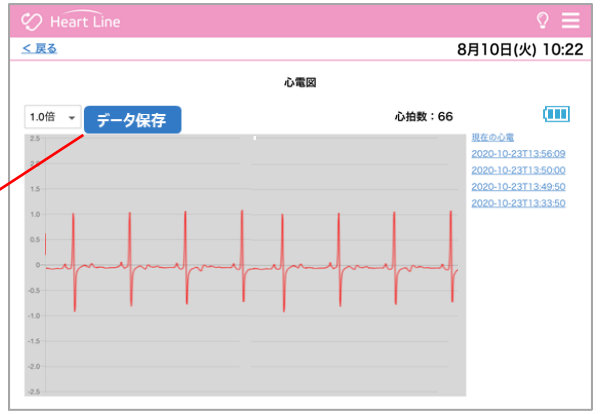
③ 主治医の指示に従って心電送信機の設定を行います。

④ Cocoronを装着し、測定を開始します。

⑤ 主治医が設定したしきい値を超えると、アラートが鳴ります。

⑥ メニューから「心電図」をタップします。

「データ保存」ボタンをタップした時から１分間の心電波形が保存されます。



電極、本機が外れてしまったら

電極が外れたり、身体にしっかりと貼られていない場合、
外れてから70秒後※に「心拍数：－」表示となります。

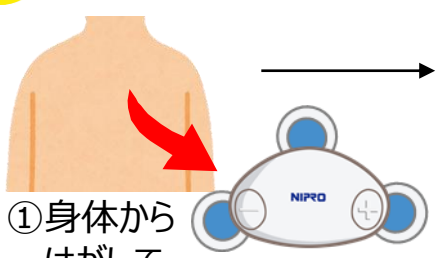
速やかに装着し直してください。

※本機仕様

【装着し直し方法】

①身体から電極ごと本機を取り外します。
②本機の電源をOFFにスライドさせます。
③本機から電極を取り外します。
④電極装着部３箇所に新しい電極を取り付けます。
⑤電極の保護シートを剥がし身体に貼り付けます。
（電極と身体の間に隙間がないように貼り付けてください）
⑥本機の電源スイッチをONにスライドさせます。

身体から取り外した後に電源を切ります。

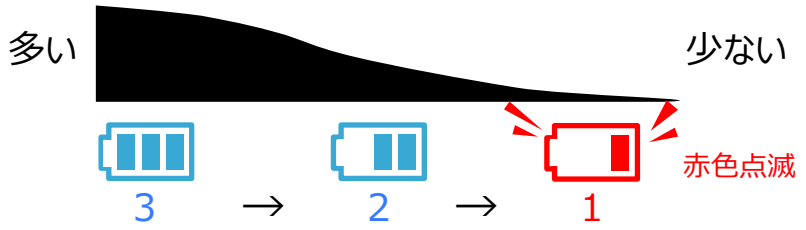


①身体から
はがして

②電源OFF

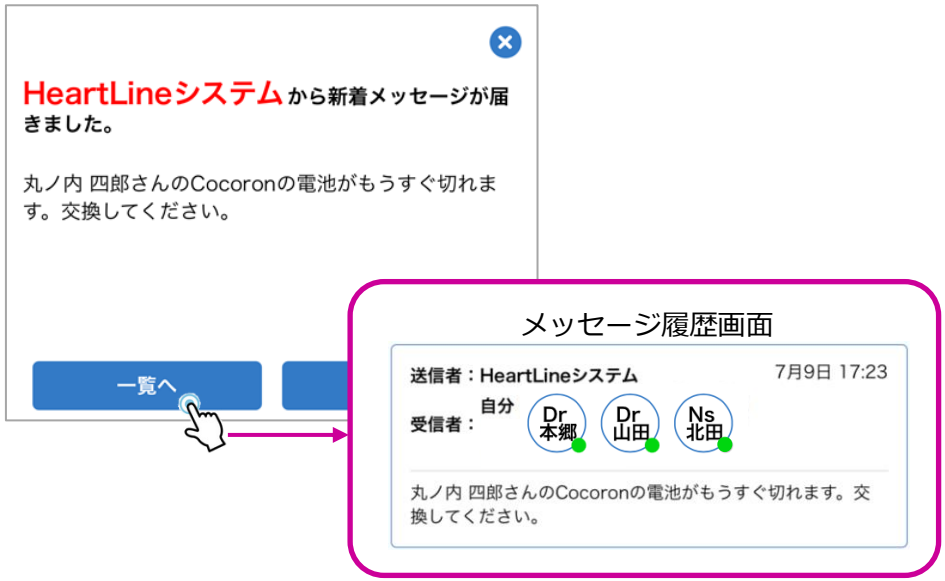
電池残量表示について

【電池残量】



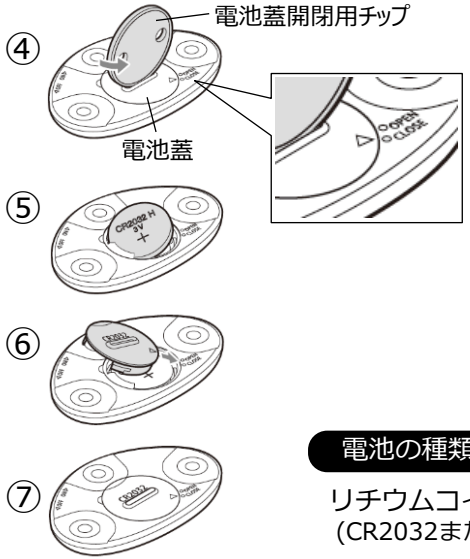
▶残量 2 → 1 は急激に減る可能性があります。
残量 2 になりましたら新しい電池をご準備ください。

残量 1 ：赤色点滅表示になると次のメッセージが表示されます。
速やかに交換してください。



【電池交換方法】

①身体から本機を取り外します。
②本機の電源をOFFにスライドさせます。
③本機から電極を取り外します。
④本機の裏側にある電池蓋の溝に電池蓋開閉用チップを差し込み、電池蓋の△マークをOPENの位置に合わせます。
⑤電池蓋を本機から取り外し、リチウムコイン電池を取り出します。新しいリチウムコイン電池を+(プラス)表示が上になるように本機へ入れます。
⑥電池蓋の△マークを本機のOPENの位置に合わせて入れ、電池蓋開閉用チップを使って△マークをCLOSEの位置まで回します。
⑦電池蓋がしっかりと本機に固定されていることを確認してください。

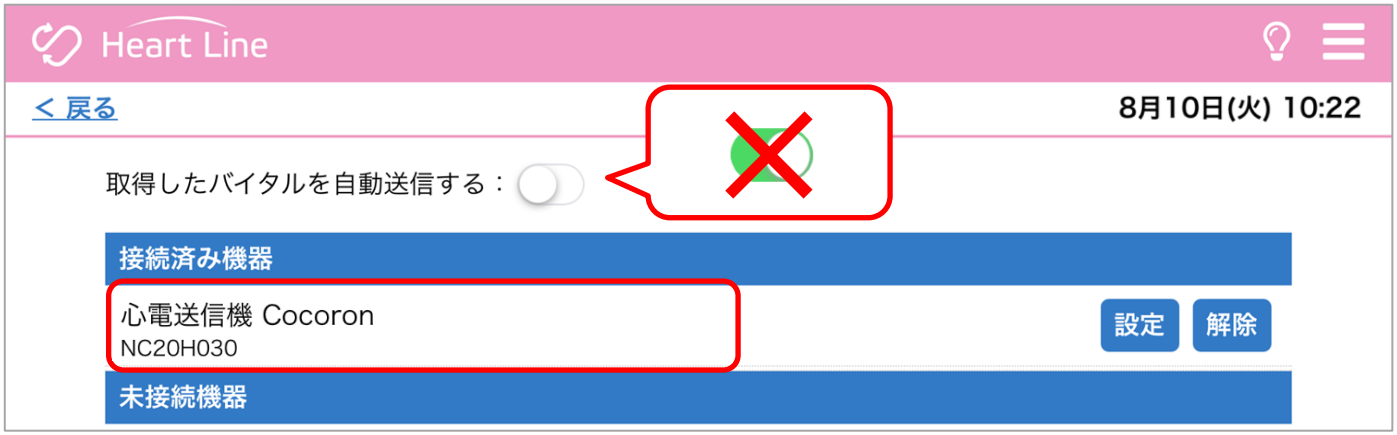


電池の種類

リチウムコイン電池　1個
(CR2032またはCR2032H)

注意点

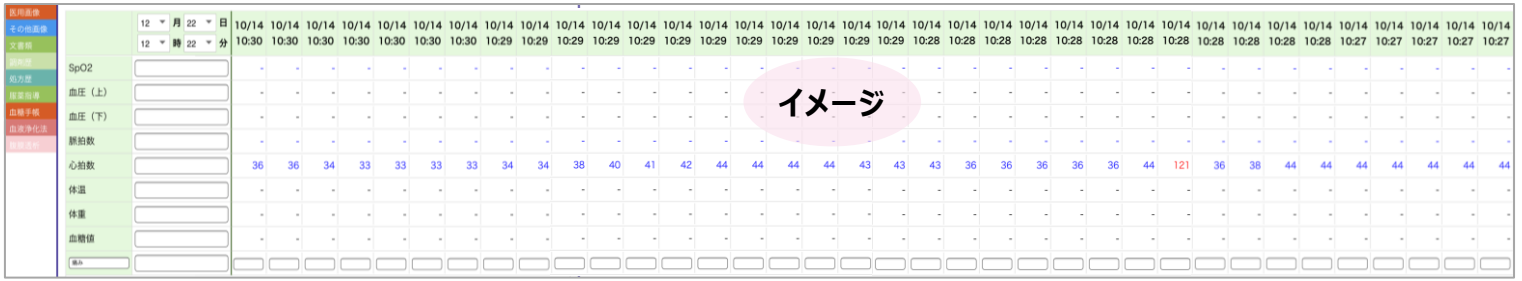
患者さんペアリング設定画面



▶Cocoron を使用する際は、患者さんのペアリング設定において「取得したバイタルを自動送信する」を ON（緑）にしないでください。

Cocoronの仕様上、自動送信OFFでも、しきい値を超えたデータは自動で保存されます。
（しきい値の設定は医療者側のみ行えます。）

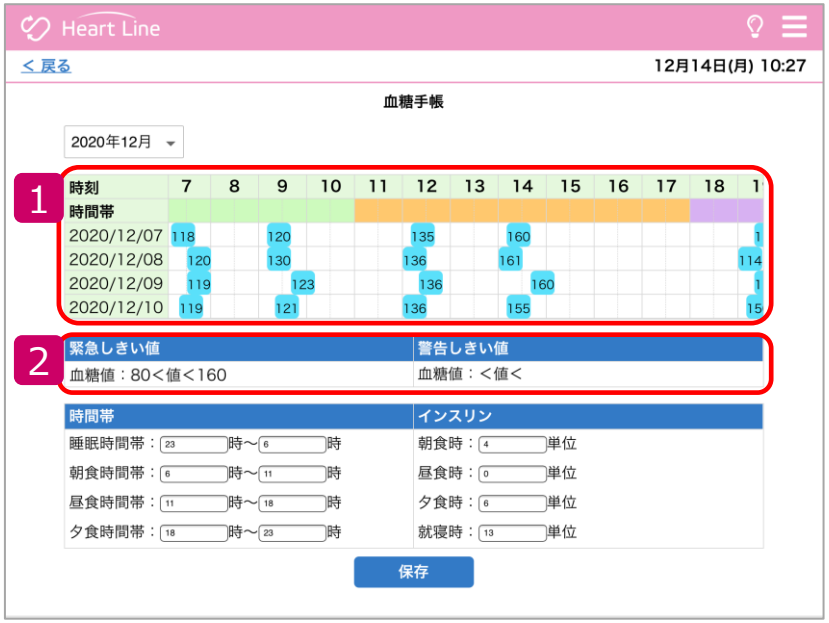
【参考】患者さん側の「Cocoron測定データの自動送信」をON設定にしていると、下図のように心拍データが飛んできます。
また、しきい値を超えた測定結果を受信すると患者さん側・医療関係者側どちらもアラートが鳴り続きます。



「バイタル」で測定した血糖のデータが一覧で表示されます。

▶本機能を立ち上げてから血糖測定をする必要はありません。
▶日本糖尿病協会より発行されている「自己管理ノート」とは異なります。

画面の見かた



1 測定した血糖値が一覧で確認できます。
時系列に表示されるので、食前・食後などの比較も可能です。

2 主治医が定めたしきい値が表示されます。
※患者さんからは設定できません。

1 「血糖手帳」をタップします。

2 時間帯とインスリン投与量を入力し、「保存」をタップします。

参　考

Hi：測定結果が「High」の場合。

601mg/dL以上

Lo：測定結果が「Low」の場合。

20mg/dL未満

見守りチーム間で共有されている文書類（Microsoft Word，Excel，PowerPoint，PDFファイル、画像等）を閲覧できます。
▶閲覧には閲覧用ソフトが必要です。

① 「文書一覧」をタップします。

② 閲覧したい文書をタップします。

③ 別ウィンドウで開かれ、閲覧できます。

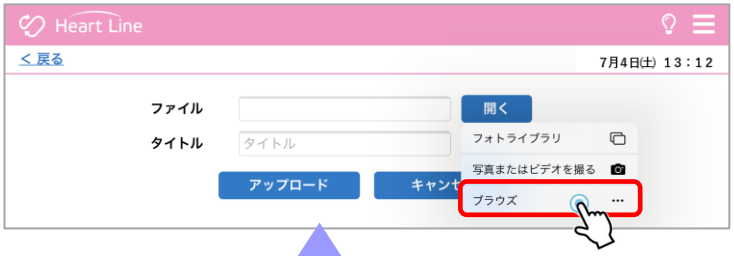
Microsoft Word，Excel，PowerPoint，PDFファイル、画像等のアップロード（登録）ができます。
ここでは、あらかじめブラウズに保存したファイルをアップロードする方法を示しています。

1 ホーム画面の「アップロード」をタップします。

2 「アップロード」をタップします。

3 「開く」をタップします。

4 「ブラウズ」をタップします。

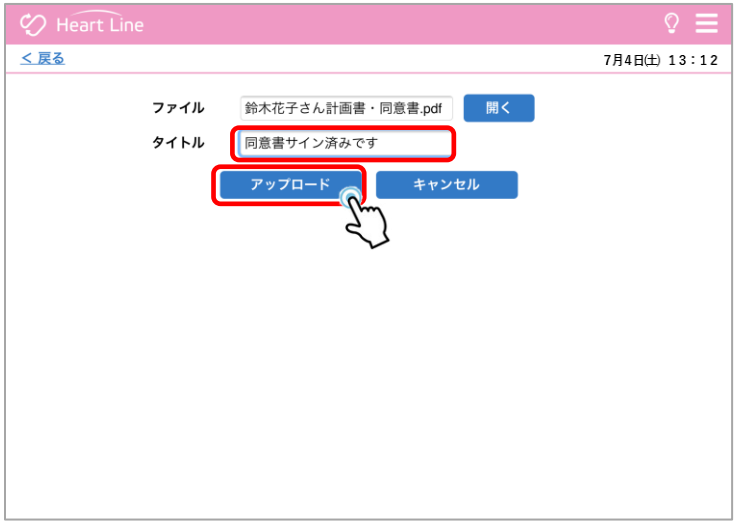


ここでは「ブラウズ」からアップロードする方法を示しています。
その他のアップロードの方法は「３.写真登録」（⇒P.19～22）と同様です。

5 アップロードする文書の上をタップします。

この辺りをタップします。

⑥ タイトルを入力し「アップロード」をタップします。



⑦ 文書類一覧にアップロードされました。

編集する

※ご自身で登録した文書等のタイトルのみ編集できます。
文書等の中身は編集・加工できません。

① 「名前変更」をタップします。

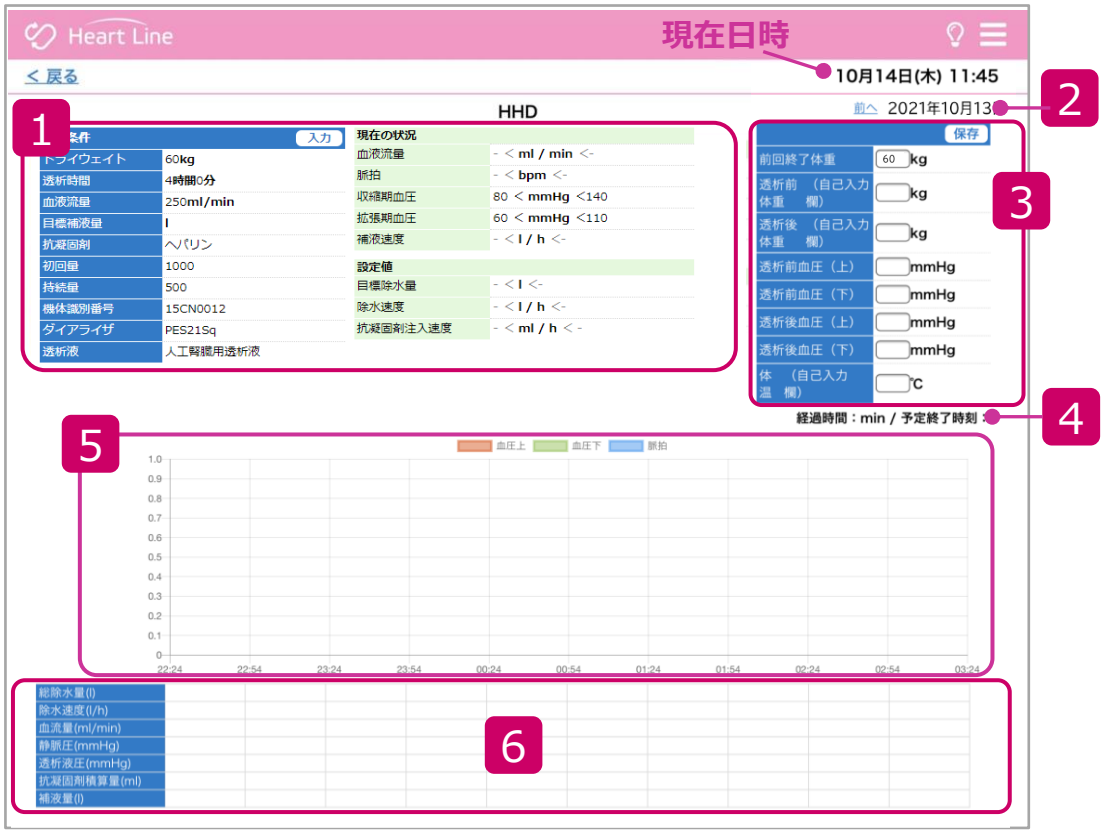
② タイトルを変更し「保存」をタップします。

削除する

※削除した文書を元に戻すことはできません。

① 削除する文書の「削除」をタップします。

② よろしければ「はい」をタップします。



その他の機能：透析中や透析後、見守り者に伝えたいことがある場合は
トップ画面にもどり、次の機能をお使いください。

トップ画面

メッセージ　メッセージの送受信が行えます。
⇒『メッセージ』P.24～25

テレビ電話　テレビ電話が行えます。
⇒『テレビ電話』P.12～18

撮影　画像の共有が行えます。
⇒『写真登録』P.19～23

1 医療機関設定欄

かかりつけ医療機関が設定する項目です。
患者側からは編集等できません。

2 過去データ

過去のデータを閲覧することができます。
前へ、次へ　ボタンで検索します。

3 透析前・後の記録（直接入力）

基本的な操作は
この枠内のみです。

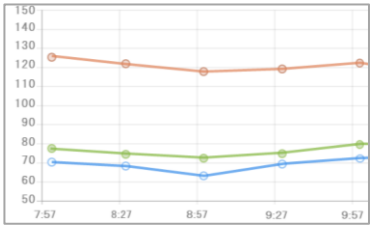
透析前後の体重・血圧を直接入力します。
透析開始前であれば何度でも保存することができます。

4 経過時間／予定終了時間表示

残り時間の目安にしてください。

5 血圧・脈拍グラフ

手動または自動で
測定した血圧・脈拍
データをグラフ化して
表示します。



6 透析中測定データ

30分ごとに、
透析装置から送信
されたデータを表示
します。

総除水量（l）	0	0.4	0.81	1.22
除水速度（l/h）	0.83	0.83	0.83	0.83
血流量(ml/min)	250	250	250	250
静脈圧(mmHg)	-8	140	147	146
透析液圧(mmHg)	90	138	141	130
抗凝固剤積算量(ml)	0.8	4.4	8	10
補液量（l）				

在宅血液透析中のデータを、「通信用ＰＣ」を通して
ハートラインに取り込むことができます。

▶透析装置が「運転」行程時のデータを取り込みます。

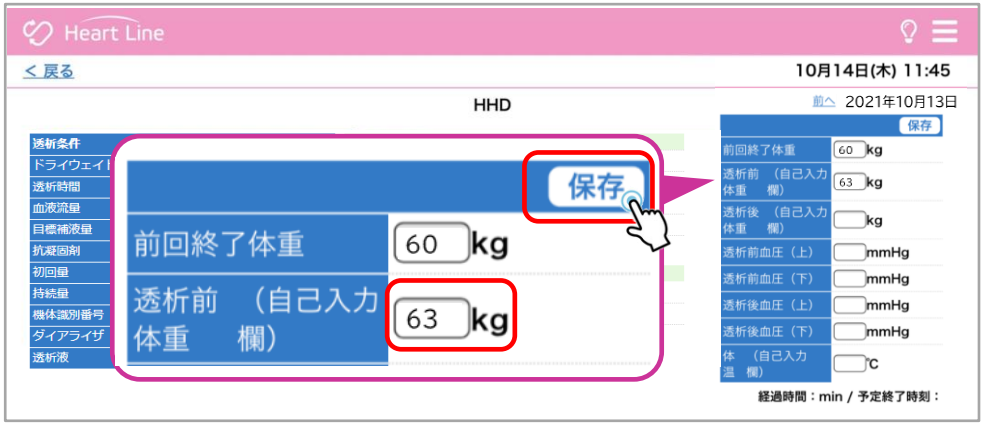
▶「通信用ＰＣ」について
→操作はしないでください。
→電源を消さないでください。
→電源を抜かないでください。

▶装置の詳しい使い方は掲載しておりません。
▶装置側の作業は（装置）としています。

1 体重を測定します。

2 メニュー ☰ から「血液浄化法」をタップします。

3 「透析前体重」を入力し、保存 をタップします。



4 （装置） 通常の透析準備をしてください。

5 （装置） 付属の血圧計で血圧を測定します。

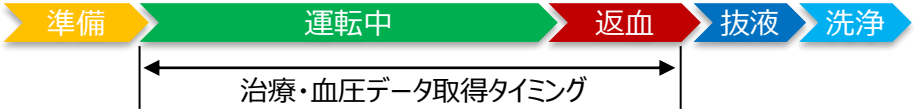
6 透析前血圧(上・下)を入力し、保存 をタップします。

7 （装置） ◇運転 ボタンを長押しして透析開始します。
データの取得が始まります。

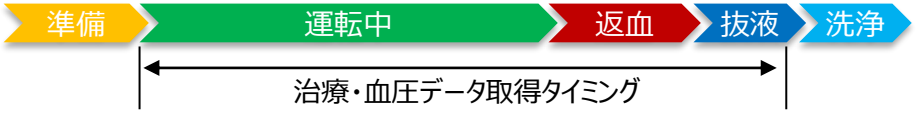
治療終了後の血圧データ取得について

通信終了のタイミングは装置設定によって異なります。
通信終了後に血圧を測定してもその値は反映されません。

▶通信終了が「返血終了時」の場合
返血後に測定した血圧データは自動登録されません。直接入力する必要があります。ただし、透析時間は正しく表示されます。



▶通信終了が「排液」の場合
返血後に測定した血圧データも自動登録されますが、透析時間は数分延びて表示されます。



▶医師の指示のもと設定してください。

◆ データ例 ◆

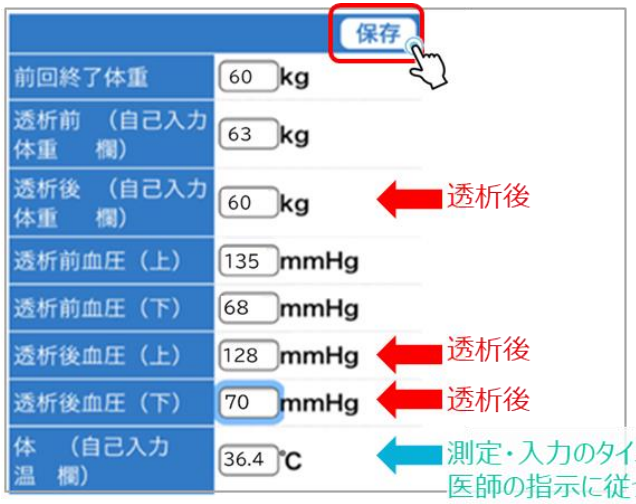
	7:57	8:27	8:57	9:27	9:57	10:27	10:57	11:27	11:57	12:27	12:57
総除水量（l）	0	0.4	0.81	1.22	1.64	2.02	2.47	2.89	3.3	(3.3)	
除水速度（l/h）	0.83	0.83	0.83	0.83	0.83	0.83	0.83	0.83	0.83	(0.00)	
血流量(ml/min)	250	250	250	250	250	250	250	250	250	(0)	
静脈圧(mmHg)	-8	140	147	146	145	150	157	155	160	(0)	
透析液圧(mmHg)	90	138	141	130	126	111	120	130	112	(0)	
抗凝固剤積算量(ml)	0.8	4.4	8	10	12	14	16	16	16	(16)	
補液量（l）											

通信終了時のデータは（　）で表示されます。

▶ここでは運転停止条件が「返血」の場合を記載しています。

例　返血で終了する場合

1. （装置）通常通り返血を行って透析終了してください。
2. 返血が終了するとハートラインに最終データが（　）表示されます。
3. （装置）付属の血圧計で血圧を測定します。
4. 体重を測定します。
5. 透析後体重・血圧（上・下）を入力し、保存をタップします。　透体重を入力しないと新たな透析画面は表示されません。



透析後体重の入力・保存は必須です。

① 腹膜透析記録(PD)をタップします。

② 該当箇所にチェック、数値を入力します。

排液量、注液量を入力すると除水量は自動計算されます。

排液と出口部の状態を写真で送る方法

をタップし、カメラを起動させます。写真を撮影し、よろしければ「写真を使用」をタップします。

取り直す場合は「再撮影」をタップします。

※ここで撮影した写真は履歴が残りません。

③ 入力後、「送信」をタップします。

④ 数値等の表記が消えれば送信完了です。

送信後は履歴が残りません。
医療関係者側には履歴が残っています。